慣用句(上級)プリント16

月　日　名前 _____

問1　「釘付けになる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 板を釘付けにして、丈夫な棚を作った。
2. 壁にポスターを釘付けにして飾った。
3. 映画の迫力ある映像に、すっかり釘付けになった。
4. 釘付けの作業が終わるまで、動くことができない。

問2　「息を殺す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 息を殺して大声で笑い転げた。
2. 息を殺して全力で走り抜けた。
3. 息を殺して肺活量を鍛える訓練をした。
4. 犯人に見つからないよう息を殺した。

問3　「肝をつぶす」の意味はどれですか？

1. 非常に驚いて恐ろしくなること
2. ひどく落胆してやる気を失うこと
3. 深く後悔して自分を責めること
4. 我慢できずに怒りを爆発させること

問4　「舌を出す」の意味はどれですか？

1. おいしいものを食べて舌を鳴らすこと
2. あざけったり失敗したりしたときのしぐさ
3. 正直にすべてを打ち明けること
4. 言葉がスムーズに出てこない様子

問5　「胸算用」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は胸算用が激しく、いつも周囲の人を困らせている。
2. 今月の売上を胸算用して、新しい備品を買う計画を立てた。
3. 胸算用が外れて、健康診断の結果が悪かった。
4. 会議で胸算用を披露し、全員の賛同を得ることができた。

問6　突然の辞令は、まさに（　）の霹靂だった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 青天
2. 荒天
3. 雨天
4. 曇天

問7　趣味の収集に（　）道を上げる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 肉
2. 筋
3. 骨
4. 血

問8　「口を割る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 口を割らないように、大きなあくびをがまんした。
2. 転んだひょうしに、口を割ってけがをした。
3. しつこく聞かれて、弟はついに口を割った。
4. おいしいケーキに、みんな口を割って喜んだ。

問9　「面目を施す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プロジェクトを成功させ、彼はようやく面目を施した。
2. 失敗ばかり重ねてしまい、面目を施す機会を逃した。
3. 面目を施すほど、彼は周囲から厳しく批判された。
4. 彼は面目を施すために、厚い化粧で顔を隠した。

問10　「目を向ける」の意味はどれですか？

1. 視線をそらして、見ないようにする
2. ある対象に関心を持ち、注意を払う
3. 自分の失敗を隠すために、話題を変える
4. 相手をじっと見つめて、威圧する

問11　「芽を摘む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 芽を摘むことで野菜の収穫量を増やした。
2. 庭の雑草の芽を摘むことで綺麗に整えた。
3. 春の訪れとともに芽を摘むのが毎年の楽しみだ。
4. 過度な干渉は子供の自主性の芽を摘むことになる。

問12　「見切りをつける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. ケーキをナイフで見切りをつけて切り分けた。
2. 道路の角で見切りをつけて、左に曲がった。
3. この事業は赤字が続くため、早めに見切りをつける。
4. 今日の勉強に見切りをつけて、寝ることにした。

問13　「気が気でない」の意味はどれですか？

1. 何かに夢中になりすぎて、周囲が見えないこと
2. 自分の考えがまとまらず、混乱していること
3. 心配や不安で落ち着かない気持ちであること
4. 期待で胸がいっぱいになり、興奮していること

問14　「気を張る」の意味はどれですか？

1. 緊張して、気持ちをしっかり引き締める
2. 周囲に気を配り、お世辞を言う
3. 自分の意見を曲げず、強情に振る舞う
4. 期待を込めて、じっと様子をうかがう

問15　「手が込む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は手が込んでいて、なかなか本音を言わない。
2. 手が込んで疲れたので、少し休憩をとることにした。
3. 忙しいので、もっと手が込んで仕事をしてほしい。
4. この料理は手が込んでいて、非常に味わい深い。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます